

CAC100アワードに応募してみよう！エントリーの流れ

気づき

普段の生活や団の活動で疑問に思ったこと
もっと知りたいこと

できることをやってみる

- ・学びを深める
- ・周りに知らせる
- ・仲間を集める

よりよくやってみる

仲間が増えると
→できることが増える
→活動範囲が広がる
地域の変化
地域と協働する

成果をまとめる

活動をふりかえる
報告にまとめる・発表する
活動を継続する

課題や改善点が明らかに→次のアクションにつながる

団で発表→みんなの意識を高めることができる。

コミュニティ（自治体、学校、行政）へ発信→より多様な人に伝わる

認知度UP→協力が現れる→課題解決、活動が前進

INSPIRED!

活動のきっかけ

住宅地にある「荒れた畑」が地域住民の困りごとになり…
原因は「地主さんが高齢化して手入れできないため」
【私たちの思い】

- ・野外活動で農業体験がしたい！
 - ・収穫した作物を活用して人の役に立ちたい！
- ガールスカウトに畑を貸してください！



PLANNING & ACTION

主な取り組み

- ・無農薬で10種類以上の作物栽培
- ・1000本以上のひまわり栽培



- ・農作業を通じた自然体験
- ・野菜料理でスキルアップ
- ・フードバンクへの寄付
- ・平和を贈るミニコンサート

畑の恵みで笑顔の輪をつなぐ

活動の成果

11種類の【畑の恵み】を収穫しました
玉ねぎ、ジャガイモ、サツマイモ、ゴーヤ、落花生、白菜、フロッキー、サトイモ、ニンニク、オクラ、スイカ



GOAL

【畑の恵み】を役立てて、たくさんの笑顔をつなぎました



・富日新聞と農林水産省九州農政局高崎県拠点の取材を受けました。また、私たちの団のfacebookでも、積極的に活動紹介しました。

・地域の皆さまの理解と協力が深まり、有機農業や子ども食の興味をもつことにつながりました。野菜販売の収益は合計10,300円をウクライナ緊急支援活動に寄付できました。

今後の展開

私たちの畑を「地域と共に楽しむ場」『SDGsを学び、実践できる場』にする

1. 有機肥料・無農薬で新たな作物栽培
地元富農産からの地産地消や地域おこし協力隊員の協力によるキャットフードなどネットワーキングを広げ、地域の子どもたちに農業や食料問題への関心を高めたい
2. 農作業を通じた国際理解の機会作り
ひまわりのフワアレンジ体験、ジャム作りほっぺのランタン作り、タンゴニアのキャットフード作り、在住外国人とともに子どもたちが国際交流や文化体験できる機会を作り、国際理解を深める活動を行いたい
3. 国内外の少女や女性のための支援
畑の作物を定期的に「お話し部」に寄付するとともに子ども食堂にも提供し、支援の輪を広げたい
農作物販売により協力者を増やし、少女や女性のための活動支援として設立したい

発表スライドと具体事例

近所の困りごとを聞いてきたわたしたちは、集会で荒れた畑をどうしたらよりよくできるかを考え始めました。

地主さんは畑に出られなくなって困っているし、近所の人もしきれいにしたい…
今までは、手入れしていたから、自然豊かな良い景色だったんだね。

アイデアを出し合って、いざ実践！まずは畑を耕し、ひまわりと野菜の栽培をスタート！

花畑になったら、きれいだね！
前に収穫体験が楽しかったから、野菜を育てたらみんなで食べたり、販売したりできるよ！
畑ってどうやって手入れするんだろう？
この場所はどんな作物が良く育つのかな？ 地元の人に教わろう！
日にちを決めて定期的にお手入れしようよ！
虫がいっぱい～！…でも続けるうちに、怖くなくなったよ！

- ✓ 荒れ地が畑に変わり、環境美化につながりました。
- ✓ 種や苗をもらったり、名人から育て方を教わったり、地元の方と交流が生まれました
- ✓ 1000本以上のひまわりを花束にして配布し、国際平和アピール活動をしました。
- ✓ 無農薬野菜をフードバンクへ寄付しました。
- ✓ 野菜販売の収益をウクライナ支援活動へ寄付しました。
 - ✓ 新聞や広報誌に掲載されました
 - ✓ 協力したいという連絡が来ました
 - ✓ LINEで収穫報告や料理紹介など楽しい報告をして、活動の輪が広がりました。

これらの活動が地域に認知され、住民から感謝の声や畑の支援を得られました！

PLAN !

目標や、目標に向かってやるのが見えてきたら、書き出して整理しよう。
エントリーには「何人にはたらしかけましたか」「達成しましたか」という項目がある。活動でどんな人たちと関わるか、想像してみよう。

<応募フォームの設問内容>

- ・活動を始めるきっかけ
- ・活動の概要、経過
- ・プロジェクトのビジョン
- ・ゴール
- ・目標（最大5つ）
- ・コミュニティにどのような変化が起きましたか？
- ・何人くらいの人に働きかけましたか
- ・今後活動をどのように広げていきたいですか？
- ・活動はSDGsのどの目標に近づきましたか？

CHECK !

応募締切の3月末までに達成できること、それ以降にやってみたいことを確認しよう
活動記録を取ろう。
作成したものの写真配布物もとっておこう。

ENTRY !

エントリーフォームに従って応募しよう。



CAC応募の流れ